

公企業商工常任委員会会議録

1 日時 昭和43年10月7日（月）午前9時

1 場所 議会第2委員会室

1 出席委員 委員長 矢川重信君
浅野重栄門君 服部喜三郎君
佐藤平一郎君 吉田勝治君
葉賀清治君 以上6人

1 欠席委員 副委員長 与口登美夫君
竹内吉三郎君 吉野正一君
以上3人

1 説明員 助役 今井哲夫君
商工観光課長 村山義雄君
ガス水道局長 相沢啓介君
ガス水道局次長 中山俊雄君
ガス施設課水道係長 中沢 清君

1 委員外議員 関矢尚三君
飯塚 正君

1 事務局職員 書記補 小黒孝範君

1 事件

第1（議第53号）昭和43年度一般会計補正予算（第5号）のうち、第1条に規定する第1表中、歳出7款

第2（議第55号）昭和43年度ガス事業会計補正予算（第2号）

第3（議第56号）昭和43年度水道事業会計補正予算（第1号）

（陳情）原子力発電所設置反対要請

1 署名委員 服部喜三郎君 吉田勝治君

1 開会時刻 午前9時19分

1 会議概要

第1（議第53号）昭和43年度一般会計補正予算（第5号）のうち第1条に規定する第1表中 歳出7款

◎村山課長 鉄道利用債は、42年度1億円、43年度11億円、44年度3億円、計15億円を引き受けることになっていたが、43年度11億円に対して沿線市町村が3分の2を負担するのであるから、7億3,333万円で、表のごとく分配すると、当市は1億5,426万円となり、7月分と10月分と1月分に分けて、今回10月分は7月と同様322万7,000円を利子補給しようというものである。

◎矢川委員長 原案どおり可決すべきものと決する。

（陳情）原子力発電所設置反対要請

◎佐藤委員 公害などというものは何にでもある。自動車事故で何人も死んでいるが、それでも自動車はますますふえている。それと同じことだ。公害を少なくしていきながら、そういうものを発展させていかなければならん。

第2（議第55号）昭和43年度ガス事業会計補正予算（第2号）

◎服部委員 100ミリを150ミリにすると、どのぐらいの力になるのか。

◎相沢局長 8割ぐらいふえる。

◎佐藤委員 去年の練越制余金が2,000万あったが、みんな処分したか。

◎相沢局長 補てん財源として、みんな使った。

◎佐藤委員 ことしもそれほど利益が出るか。

◎相沢局長 ガスの売上を見ると、昨年と比較して、約5パーセントぐらいの伸びです。昨年8月の試算表では約340万円、今年度は約540万円、200万円の増となっている。

◎佐藤委員 去年どおりのガス漏減率が保たれるか。

◎相沢局長 4月から8月までの状況を見ると、昨年より約2パーセントの増となっている。

◎佐藤委員 2パーセント違うとでかい違いだ。総売上量は幾らか。

◎中山次長 1億2,000万です。

◎葉賀委員 漏洩を防ぐあまり、空気を売らんようにしてください。

◎佐藤委員 理研の料金は、その後どうなったか。

◎相沢局長 むずかしい。

◎佐藤委員 市長から高くもうけを取って、理研には安く売っている。そういうことはおかしい。

◎相沢局長 公共料金抑制ということから……。

◎佐藤委員 理研の使っているガスは、公共じゃない。営業用のものです。公共料金とは、市民に対することばです。

◎吉田委員 かつては、理研は経営状態が苦しかったが、いまはかなり楽だ。こういうときでないと、改定はできない。

◎相沢委員 今後努力をしたい。43年度から中圧管を春日供給所から海岸線を通してプールにするという計画です。そうすると、現在の春日供給所の施設では、中圧管を回わすと、機械の能力が不足してくる。それらと関連して、理研は現在4,500キロカロリーで供給しているが、これを原ガスで供給したいと考えている。いずれ決定したら、また皆さんに相談したい。カロリーアップになるわけですが、その場合、料金をスライドするというような方法はよろしいという通産局の考え方です。

◎矢川委員長 原案どおり可決すべきものと決する。

第3（議第56号）昭和43年度水道事業会計補正予算（第1号）

- ◎相沢局長 水源調査費60万円は、先般水源調査をしたが、なお鯨波、赤坂山浄水場付近を調査したいので、その費用です。半田の水道工事は、去年16戸、ことし56戸、建設される予定なので、150ミリで430メートル布設したい。水源掘さく費は、荒浜地内に井戸2本を掘って、明年のピーク時まで配管したい考えです。約2,000トン进行期待している。谷根えん堤地質調査費は、どういふ岩質であるかを調べて、工事費の算出の材料にしたいので、200万円を計上した。これは、1カ所15メートル8本のボーリングをする予定です。高浜の試験掘費は明年度から高浜に簡易水道を布設する計画なので、試験井を掘りたいということです。青海川地区測量費は委託してまいるという考えです。
- ◎佐藤委員 半田の団地のために、支出をした投資額は幾らになるか。
- ◎相沢局長 6～700万円になる。
- ◎佐藤委員 あの土地は非常に安く県に売った、ガスも水道も道路もなかったのて。ところが、こういう投資をしたので高くなるわけだが、県は負担はしないのか。200円の土地が500円ぐらいになる。
- ◎相沢局長 住宅対策としてやろうと思っている。
- ◎佐藤委員 水道の犠牲においてやろうというのは、決して住宅対策じゃないと思う。市民の犠牲において住宅対策をやろうとしている。さっきの理研の料金と同じことです。
- ◎葉賀委員 今度は、下水の問題も出てくる。
- ◎佐藤委員 その次の荒浜地内の掘削は請負に出すのか。
- ◎相沢局長 そういふ予定です。
- ◎佐藤委員 指名はどよういふ対象か。
- ◎相沢局長 まだ、きめていない。
- ◎佐藤委員 それはおかしい。それで、300万円が計上されている。当然、指名競争入札の名称ぐらい、わかっていなければならない。
- ◎相沢局長 SK産業、帝石などです。
- ◎佐藤委員 谷根のえん堤地質調査はもうやっているか。
- ◎相沢局長 議決をいただければ、10月か11月ごろからやりたい。
- ◎佐藤委員 この調査費はどよういふふうにきめたのか。
- ◎相沢局長 この前、蔵田という地質の先生から現場を見てもらった。その結果、あすこの位置で深さ15メートルのボーリングを8本掘ればいいんじゃないかと……。
- ◎佐藤委員 そういふものを市がしなければ、コンサルタントとか原さんはやれないのか。
- ◎相沢局長 こちらで調査をしていきたい。
- ◎佐藤委員 この結果が出てあなた方は判定できるか。

- ◎相沢局長 専門家に鑑定してもらう。
- ◎葉賀委員 それじゃ2重の手間だ。これを業者に見せて、もしだめなら、またもう1回調査をしなければならん。
- ◎佐藤委員 15メートルですネ。どこから15メートルを言うのか。いろいろの所がある。
- ◎相沢局長 こっちから行って、林道のほうは岩が出ている。それが、どこまでどういうふうになっているか。風化している部分もあるし、していない部分もある。風化していない所まで行くには、どのくらい掘らなければならないか。まあ、大体15メートル掘ればわかると思う。
- ◎佐藤委員 一律に15メートルか。
- ◎中沢係長 本当の岩が出てこえば、打ち切ってもよろしいという補足を発注に書いておきます。
- ◎佐藤委員 蔵田さんには、幾らでお願いしたか。
- ◎相沢局長 これは原さんをお願いした。原さんが今度、蔵田さんをお願いした。直接、経費は払っていない。市長助役には口頭で了解を得た。
- ◎佐藤委員 そんなことで、監査委員が通すか。幾らになるかわからないのに。
- ◎中沢次長 東京設計にもお願いした。概算設計が出てたら、その時点で支払いたい。
- ◎佐藤委員 幾らになるかわからない。1万円になるか、2万円になるか。あるいは50万円になるかわからない。100万円と言われてもしかたがない。発注の仕方がおかしい。当初予算で80万円出ている。また、ここで200万円出さなければならないんだが。
- ◎中沢次長 業者が同じことを2回も3回もやることは不経済です。われわれがやれば、そういったムダなことはできない。(今井助役出席)
- ◎佐藤委員 助役さんに1つ1つ聞かなければならない。ガスのほうは、ガスが非常にもうかっているのに、公共料金ストップということで理研のガスの改定はしない。生ガスにするから、大体了解するようなものだが、はたして理研のガスは公共料金かどうか。
- 次は、水道ですが、半田の住宅団地。住宅改築の一環としてやられるわけですが、6～700万も投資をしたそうですが、当時は道路がなく、水道もなかった。それらが今度入るのだから、土地が高くなるのはあたりまえです。それらの一半ぐらいは、供給公社なんかに負担させたらいいのじゃないか。
- ◎今井助役 理研のガス料金が現状にそぐわなくなっている現在において、これをどうやって解決しなければならないか。ところが公共料金抑制という中で、これを生ガスにすることによって解決していきたいと、いまそういうふうに取り組んでいきたいと考えている。
- ◎佐藤委員 理研に売るのは公共料金じゃないと思う。やがて生ガスに変わるのだからいいが。来年から変わるのか。
- ◎相沢局長 そうです。

- ◎佐藤委員 勘定外ガスを出さんためにも、理研に直接ガスをやったらどうか。
- ◎中山次長 私どもと契約をやめて、直接、帝石と理研とやれということですか。
- ◎佐藤委員 春日の供給所は、ガスがいっぱいになったのでしょうか。
- ◎中山次長 原ガスにすれば、もう倍は入る。
- ◎佐藤委員 その次は、谷根えん堤の地質調査ですが、原さんにたのんだと。値段はわからない。しかも、市長、助役とは口約束でやった。伺い文書はとっていない。そういうことをしていいのかどうか。

◎今井助役 東京設計、日本水道コンサルタント、盤城水道、この3つがいまのところ相手になっている。原さんは柏崎の水道事情に精通しているのであるが、年をとっているので、ここら辺で、新しい規模の、新しい視野の方をお願いしてみたらどうかとも思い、「営業カタログをもらいたい」とちょっとカマをかける。設計を依頼するというわけじゃない。そういう引っかけ方をする。ところが、東京設計事務所も日本水道コンサルタントも熱心にやってくれて、3日も4日も泊まりがけで現地を見て、柏崎の水道はどうしたらいいかと意見書を提出してもらっている。これは契約書によって依頼したわけではないけれども、概算の見積額が出てきたわけです。それが100万トンのダムについて10億もかかるという話なんです。そういうことで、原さんからは30万トンで1億2,000万ですから、ずいぶん違う。そういうことで、どっちがいいのか。3社競争で調査させてもらっている。そうやってまいると設計をだんだん追いつめていくためには、あの地点の地質、地形、地盤、これらが資料として出てこない、概算設計金額がどう変わっていくかわからない。

こういうことで、3社のいずれが担当するとしても、地質がわからんことには概算設計が立ちにくいということで、200万かかってもやろうということで、ここをお願いしているわけです。

さて、幾ら出すのかということですが、こちらが原さんやほかの業者にそこまでたのんだのじゃないから、金を出す必要はない、という態度も1つあるけれども、ある程度、業者の労力というものに対しては謝礼金を出さなければならないと考えている。その金額は幾らにするかは、まだきめていない。

◎佐藤委員 ご説明はよくわかったんですが、当初予算のときとちょっと説明が違うようにも見える。契約はしていない。ちょっと引っかけたという話でしたが、その当時は、東京設計と日本水道コンサルタントをお願いしたが高いので、原さんにたのみ直すということだった。ニュアンスが違う。

それはそれとして、書類を残しておかなければならないと思う。謝礼金を出すためにも、伺い文書をとる必要がある。

◎今井助役 まことに困るのは、3社のどこに頼むのか、具体的にはっきりしない。

◎佐藤委員 ボーリングを1ヵ所でやるよりも、2社、3社にやらせたほうがいい。

◎今井助役 市がやれば、3社のいずれの材料にもなる。

◎佐藤委員 このボーリングの位置というものは、盤城水道の考え方と同じだ。あなた方が、まだどことも決めていないと言いながら、もう原さんのところに入っている。

その地点を選定したということは、市が責任を持つんですネ。業者ではないですネ。そういうことはたいへんなことだ。問題は、あなた方のボーリングが他の業者にハネられたら、もう1回、またしなおさなければならぬということだけです。

◎矢川委員長 それでは原案どおり可決すべきものと決する。

1 閉会時刻 午前11時8分

公企業商工常任委員会

委員長	矢川重信
署名委員	服部喜三郎
署名委員	吉田勝治